

特別支援学校 学校評価一覽表①（令和4年度版）

（様式1）

羅針盤			※各学校で設定	方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策	
Ⅰ 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 児童生徒は充実した学校生活を送っていますか。	児童生徒が充実した学校生活を送っている。（目標値100%）	教務部	個別面談や学校行事等の機会や連絡帳で保護者からの話や意見を聞き、児童生徒にとっての学校生活がよりよいものになるようにしていく。	/	A	学校と家庭の情報共有や共通理解は、児童生徒の指導において欠かすことができないものであることを一人一人の教員が改めて認識する。そして、今後とも引き続き、個別面談や連絡帳で保護者からの意見を丁寧に聞くことで、児童生徒にとっての学校生活がより充実したものとなるように努めていく。	/	/	/	
		保護者は、学校からの各種たよりや毎日の連絡帳によって、学校の教育活動の様子を理解している。（目標値100%）		各種たよりや連絡帳を書く際は、内容や表現等に十分気を配り、分かりやすく丁寧な情報伝達を行うようにする。また、保護者がどのような内容を知りたいと思っているかということにも留意する。							A
	学校から出す通知や一斉連絡メール、電話連絡等により、学校からの様々な連絡が保護者にタイミングよく確実に届いている。（目標値100%）	学校からの連絡や通知をするタイミングや時期に配慮するとともに、確実に連絡が届くように確認を行い、連絡の不備が起らないようにする。		/	A	学校からの通知や連絡をするタイミングや時期に配慮し、学校からの通知や一斉メール、電話連絡等により、様々な連絡が保護者に確実に届くようにしていく。					
	3 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	居住地校交流について、実施した保護者は、子どもにとって有意義な活動であったと感じている。（目標値100%）				相談支援部	居住地校交流を実施する場合には、相手校との打合せを丁寧に行い、感染防止対策をした上で、子どもたちの実態に合った、有意義な活動が行えるように計画する。終了後、相手校とは総括を行うとともに、保護者とは、活動の様子や評価等について情報共有を行うことで、よりよい交流につなげる。	/	/	/	/
2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	居住地校交流については、2学期以降に計画をされているものが多く、第1回のアンケートの時点ではまだほとんど実施されていないため、第2回のアンケートで評価をする予定。										
Ⅱ 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	4 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	地域の幼保、小、中学校からの特別支援教育に関する相談や指導・支援、研修会への講師要請に対応したり、授業公開・研修会を行ったりして、地域における特別支援教育の中核校としての役割を十分に果たしている。（目標値100%）	相談支援部	特別支援教育に関する地域からの相談にきめ細かく対応するとともに、校内の各係とも連携しながら、学校公開や研修会の案内を地域に発信する。また、職員の専門性を高められるよう、指導上気付いたことは、係が中心となってアドバイスし合う。	B	A	外部アンケートからは、高い評価を得ることができた。今後も専門性の向上に努め、地域の学校・園からの相談等にきめ細かく対応し、センター的な役割を果たせるようにしていく。 校内においては、特別支援教育に関する専門性の向上のため、他の係とも連携し、校内支援を行うことで、一人一人の専門性の向上を図るよう努めていく。	/	/	/	/
Ⅲ 児童生徒一人一人の実態に応じた、適切な指導をしていますか。	5 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	保護者は、個別の指導計画の目標設定やその手立て、達成状況に満足している。（目標値100%）	学習指導部	職員に個別の指導計画の目標や手立てなどを作成するための資料を配付し、説明を行う。また、保護者に対して根拠をもった説明ができるように、職員にアセスメントについて説明したり、必要に応じて学習会を開いたりする。			A				
		ICT機器を活用して、児童生徒の学習意欲を喚起するとともに、学習効果を高めている。（目標値100%）	情報部	職員のiPad操作に関するニーズを調査し、研修を実施する。また、研修部と連携し、学習場面での活用についてまとめ、全体で周知できるようにする。	A	A		職員研修を充実させたり、ICT機器の環境整備を行うことで、より児童生徒の教育活動につなげていきたい。また、本校のICT機器を活用した活動の取り組みについて知っていただけるよう、発信に努めたい。			
Ⅳ 特別支援教育の専門性の向上に努めていますか。	6 校内研修等を計画的に実施し、特別支援教育の専門性の向上に、学校全体で取り組んでいますか。	学習会や公開講座等で得られた知識や技術を生かし、指導内容や指導方法の改善に繋げている。（目標値100%）		職員のニーズや研修テーマに沿った内容で学習会や講座を計画したり、職員がお互いの教材・教具を見合う機会を設けたりする。	/	/	今年度は、第1回のアンケートの時点ではまだ実施されていないため、第2回アンケートで評価をする予定。	/	/	/	/

		今年度、校内全体で取り組んでいる授業改善について、教職員それぞれが十分な成果をあげることができている。(目標値100%)	研修部	学習指導要領を活用し、指導の根拠を明らかにして指導案を作成したり、ICTを取り入れた授業を行ったりして改善授業を行う。また、日々の授業に生かせるよう、ICTに関する研修を計画する。	A	より学習効果の高い授業を行っていくように、ICTの活用を情報部と協力しながら高めていく。また、授業実践を紹介したり、授業研究したりする機会を設けることで、教師が日々の授業にICTを生かせるようになっていく。				
V 児童生徒の健康の増進に努めていますか。	7 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	児童生徒の健康の増進について、家庭訪問、個別面談、電話連絡、連絡帳、各種たより等を通して情報交換を行い、早急かつ適切な対応をしている。(目標値100%)	保健給食部	家庭訪問、個別面談、電話連絡、日々の連絡帳で保護者との情報交換を行い、教職員間の連絡、報告を密にし、迅速な対応をする。必要に応じて、全職員へ情報を周知し、必要な配慮を行う。毎月配布される保健だよりの重要な内容について朝会等で情報共有を行う。	A	A	学校としては些細なことでも、健康上の心配事は保護者に伝え、早急に対応することで保護者との信頼関係を保つことができると思われる。今後も早急、適切に対応できるように職員間の連携を深めて対応していく。			
		危機管理対応マニュアルを理解し、児童生徒に病気やけが等の緊急事態が発生したとき、適切な対応をとることができる。(目標値100%)		危機管理対応マニュアル冊子内の「けが等の緊急事態への対応マニュアル」を教室に掲示すると共に、様々なケースを想定した緊急事態対応訓練などを通して理解を深めていく。	A	教室掲示用の対応マニュアルを改訂し使いやすい形に変更したり、年度初めに全体に周知し、全職員でマニュアルの確認を行ったことにより意識が高まった。緊急事態対応訓練の際には、再度確認を行い、さらに理解を深めていく。				
VI 安全な学習環境の確保に努めていますか。	8 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	校内の施設設備を点検して安全を確保するとともに、美化活動に十分、努めている。(目標値100%)	管理部	毎月確実に安全点検を実施し、修繕箇所などがあれば早急に対応していく。火曜日、金曜日の朝清掃を朝会終了後に全体に呼びかけていき、全教職員で校内美化に取り組むよう周知していく。	A	A	今後も引き続き、毎月、安全点検を確実に実施し、修繕箇所等を把握した際には、早急に対応していく。また、それぞれの清掃分担箇所に責任をもち、掃除、美化に取り組んでいってもらえるように職員間の連携をさらに深めて対応していく。			
		危機管理対応マニュアルを理解し、地震、水害等の自然災害が発生したとき、適切な対応をとることができる。(目標値100%)		緊急時に適切に対応できるように普段から全教職員で危機管理対応マニュアルの理解を深めておく。また避難訓練などの際は、当日の朝会で対応策をしっかりと再確認していく。	A	今後も引き続き、職員全員が危機管理対応マニュアルを理解し、地震、水害等の自然災害が発生したとき、適切な対応をとることができるように職員間の連携を深めて対応していく。				
VII 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	保護者に対し、学校から提供されるキャリア教育に関する情報を伝え、児童生徒の将来について十分な話し合いを行っている。(目標値100%)	進路指導部	発達段階に応じた自己肯定感を高めるキャリア教育について保護者へ十分な情報が伝えられるよう、キャリア教育通信を発行したり、職員研修を開催したりする。		A	2学期以降は、キャリア通信の内容の充実を図っていく。			
		10 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。		キャリア教育の視点を踏まえて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成したり、授業づくりを行っている。(目標値100%)	キャリア教育の視点を踏まえた個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成や授業づくりができるようにキャリア教育全体計画などをWebページに掲載し、情報提供を行っていく。	A	A	キャリア教育の中で育成すべき力やキャリア教育全体計画について、改めて職員の共通理解が図れるように、学部会等で係から発信する。		
VIII 関係機関との連携が円滑に行われるように努めていますか。	11 保護者、地域、関係機関と学校との連携が行われていますか。	保護者の協力が必要な学校行事について、連携を取りながら進めている。(目標値100%)	渉外部	各活動において、活動内容を周知する。活動後にはアンケート結果を含めた記録を提示したり、活動の様子をWebページ等を通じて発信したりする。			対象となる学校行事はすべて2学期以降に予定しているため、第2回のアンケートで評価をする予定。			
IX 児童生徒の生活上の課題を把握し的確に対処していますか。	12 個に応じたきめ細やかな指導を行っていますか。	「学校いじめ防止基本方針」について、保護者に示し協力を得ている。(目標値100%)	生徒指導部	保護者に「学校いじめ防止基本方針」やいじめ防止についての情報提供を行っていく。		A	今後も引き続き、いじめや問題行動等に対する対応や取組ができるよう家庭と学校が連携して安心安全な学校に努めていく。			
		いじめや問題行動に対して、十分な取組や対応ができています。(目標値100%)		いじめの実態把握やいじめの防止等について教職員の理解を深める。児童生徒が自分や友達を大切にすることを整える。	A	A	未然防止や早期発見につながるよう、情報共有や素早い対応をして、いじめや問題行動に対応する意識を高めていく。			